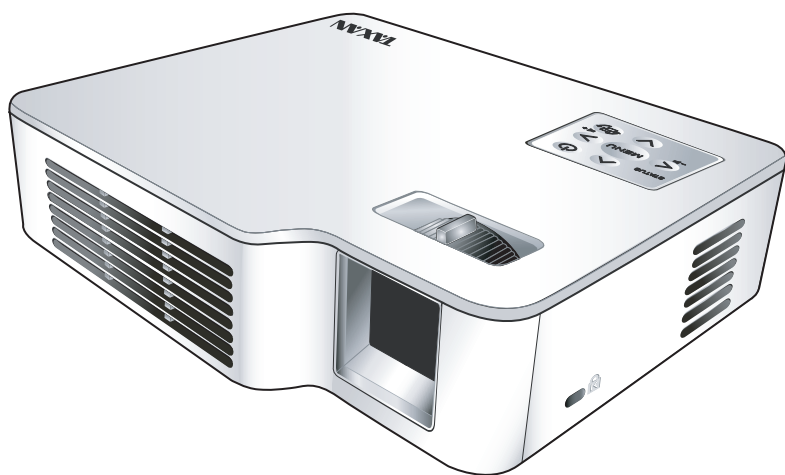


TAXAN



LEDプロジェクタ 取扱説明書

はじめに

このたびは、TAXANデータプロジェクトをお買いあげいただきありがとうございます。この製品を正しくお使いいただくために、この「安全とサポートサービスご案内」と「取扱説明書」を最後までお読みください。お読みになった後は、「保証書」とともに、いつでも見ることができるよう大切に保管してください。

型番	解像度（フル機能）
KG-PL051W	1280 x 800（WXGA）

- ・ DLP® (Digital Light Processing) は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
- ・ S-VGAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・ Macintosh は米国 Apple Inc. の商標です。
- ・ Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
- ・ その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転記することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本製品の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

目次	
製品の概要	7
パッケージの概要	7
電源オン/オフ	7
投写画像の高さを調整する	8
入力ソースを接続する - VGA/HDMI	8
投写画像を調整する	8
入力ソースの接続 - コンボジットAV入力	8
ビデオ変換ケーブル仕様	8
SDカードを挿入する	9
三脚を使用して設置する	9
USBフラッシュドライブを挿入する	9
メニューの使用法	10
写真の表示	11
写真の表示 - 全画面表示	12
写真の設定	12
ビデオの再生	13
ビデオ再生 - ビデオ再生モード	14
ビデオ設定	14
音楽の再生	15
音楽再生 - 音楽再生モード	16
音楽設定	16
ドキュメントの表示	17
ドキュメントの表示 - 表示モード	18
USBディスプレイ	19
WiFiディスプレイ	20
ファームウェアのアップグレード	21
メニュー設定を外部入力ソース用に調整する	22
メニューの使用法	23
メニューの使用法	24
メニューの使用法	25
メニューの使用法	26
メディアファイルのサポートリスト	27
仕様	28
トラブルシューティング	28

安全のために必ずお守りください

ご使用前に

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害を与えたりすることがあります。

絵表示の意味

	この記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（右図の場合は感電注意）が描かれています。	
	この記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（右図の場合は分解禁止）が描かれています。	
	この記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（右図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。	

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

使用上のお願い

性能確保のため、次の点にご留意ください。

1. ご使用前にはレンズキャップを必ずはずしてください。
2. 投映レンズ面は素手でさわらないでください。
投映レンズ面に指紋や汚れがつくと、十分な画質が得られませんので、レンズ面には手をふれないでください。
3. スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
4. リモコンについて
本機の操作の一部はリモコンのみで行います。リモコンをなくさないようにご注意ください。
5. 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
6. 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
7. 廃棄について
本体廃棄の際は、お買いあげの販売店または、自治体にお問い合わせください。

安全のために必ずお守りください

 警告

電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
・設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
万一、電源コードが傷んだら、販売店または弊社「カスタマーセンター」に交換をご依頼ください。

内部を開けない
内部には電圧の高い部分があります。キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の調整や設定、点検、修理は販売店または弊社「カスタマーセンター」にご依頼ください。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う
電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となります。ランプ交換の際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、45分以上たって充分にランプが冷えてから行ってください。



レンズをのぞかない

投影中にプロジェクタのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。



次のようなところでは使用しない

火災・感電の原因となります。

- ・ 暖房の近くや振動の多い所。
- ・ 湿気やほこりの多い場所。
- ・ 油煙や湿気の当たるような場所。（調理台や加湿器のそばなど）



不安定場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

安全のために必ずお守りください

警告



定格電圧以外
使用禁止

表示以外の電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

水場や水にぬれるような所には置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。



電源プラグを
コンセントから抜く

故障したままの使用はしない

万一、煙が出ている・変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



すぐ修理依頼を

取扱説明書に従って正しく使用してもなお画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



禁止

排気孔、吸気孔をふさがない

排気孔、吸気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをすることがあります。

風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 周囲の壁から10cm以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ たてて使用しない。



電源プラグを
コンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となります。



禁止

プロジェクタの上に水が入った物を置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

安全のために必ずお守りください

警告



電源プラグを
コンセントから抜く

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く
安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない
雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。
感電の原因になります。



電源プラグの刃および刃の付近の付着物とはとる
電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



ソフトケースには本機および付属品以外は入れない
内部にクリップやホッチキスの針等の金属片や異物が入ると、火災や感電の原因となります。



本機を移動するときは、緩衝付きの梱包材に入れる
・本機を別の場所に移動する場合は、運搬時の落下・衝撃を防ぐために、付属のソフトケースに入れた上で、更に緩衝付きの梱包材に入れて運搬してください。
・ソフトケースにクリップやホッチキスの針等の金属片や異物が入っていると、移動時の振動で本体内部に入る場合があります。電源を入れたときに火災や感電の原因になります。

注意



禁止

電源コード・電源プラグについて

・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
接地接続は必ず電源プラグを電源に接続する前に行ってください。また、接地接続を外す場合には必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。



電源プラグを
コンセントから抜く

・移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブル、転倒防止器具などをはずしたことを確認の上、行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。



・電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



・電源コードは本製品以外の製品には使用しないでください。

安全のために必ずお守りください

注意



部品割れは
修理依頼を

部品が割れた際は修理依頼を

本機内部にはレンズやフィルタ、ランプなどのガラス部品を多数使用しています。

万一、部品が割れた際には、破片でけがなどをしないように取り扱いに注意し、販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。



無理な扱いはしない

ソフトケースの取り扱い上のご注意

本機を入れて振り回さないでください。また、無理なサイズのものは入れないでください。

本機の傷や故障の原因になることがあります。



内部の掃除は
販売店で

点検・工事について

1年に一度くらいは内部の掃除を販売店または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。本機の内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用につきましては販売店または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。

電池の取り扱い

電池の取り扱いには注意してください。火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池をショート、分解、火に入れたりしない。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 電池をリモコンに入れる場合、極性を（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、機器の表示通りに入れる。
- 使いきった電池はすぐに機器から取り出す。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。
- 電池を廃棄するときは、その地域の回収方法に従ってください。



投映中、レンズの前には物を置かない

投映中にレンズの前には水槽等、レンズ効果をもたらすものを置かないでください。火災の原因となることがあります。



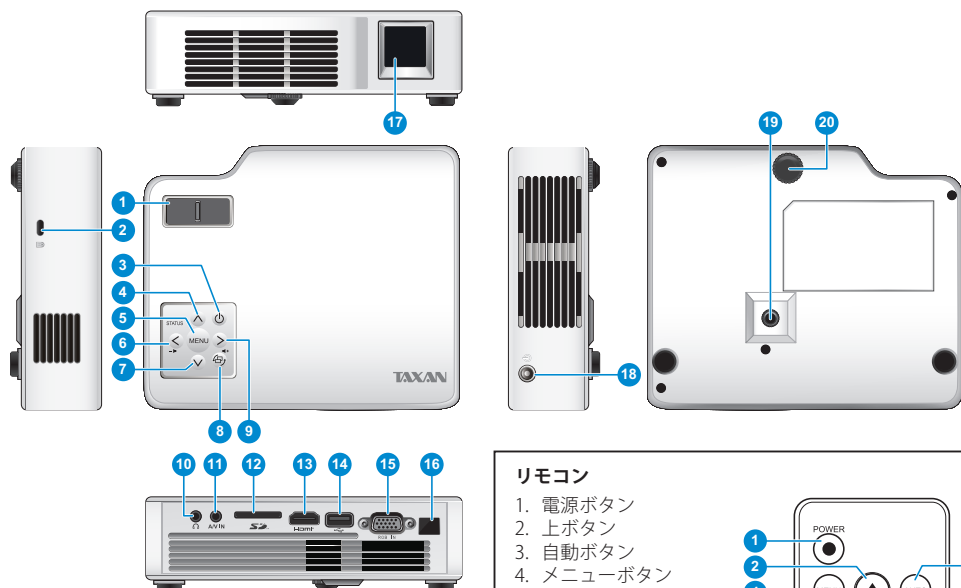
高温注意

高温注意

投映中及び投映終了直後は排気孔付近が高温になっており、手を近づけるとやけどの原因となることがあります。

投映中及び投映終了直後は排気孔付近に触れずに温度が下がるまでお待ちください。

製品の概要

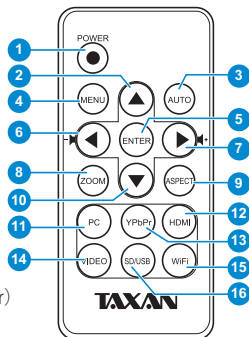


1. フォーカスダイヤル
2. ケンジントンロック
3. 電源ボタン (⏻)
4. 上ボタン (▲)
5. メニューボタン (MENU)
6. 左ボタン (◀)
7. 右ボタン (▶)
8. 自動ソースボタン (⌂)
9. 右ボタン (▶)
10. オーディオ出力コネクタ
11. A/V入力コネクタ
12. SDカードスロット
13. HDMIコネクタ
14. USBコネクタ
15. VGAコネクタ
16. IRレシーバー
17. レンズ
18. DC入力
19. 三脚用ネジ穴
20. 高さ調整脚

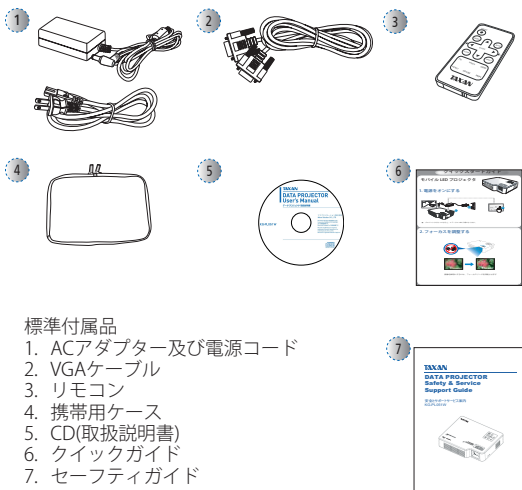
注
項目4~9も機能ボタンです。機能は、現在のモードにより異なります。

リモコン

1. 電源ボタン
2. 上ボタン
3. 自動ボタン
4. メニューボタン
5. 決定ボタン
6. 左ボタン
7. 右ボタン
8. ズームボタン
9. アスペクト比ボタン
10. 下ボタン
11. PCボタン
12. HDMIボタン
13. コンポーネント (YPbPr) ボタン
14. ビデオボタン
15. WiFiボタン
16. SD/USBボタン



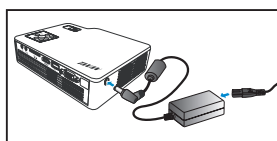
パッケージの概要



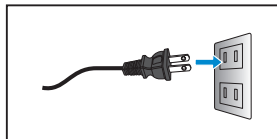
標準付属品

1. ACアダプター及び電源コード
2. VGAケーブル
3. リモコン
4. 携帯用ケース
5. CD(取扱説明書)
6. クイックガイド
7. セーフティガイド

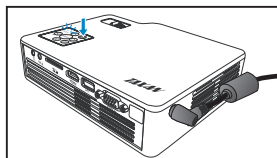
電源オン/オフ



1. プラグをプロジェクタの背面のDC入力ジャックに接続します。

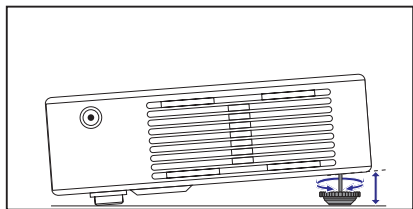


2. 電源コードのプラグをコンセントに挿入します。ステータスLEDがスタンバイモードでは赤く点灯します。



3. プロジェクタをオンまたはオフにするには、電源ボタン (⏻) を押します。プロジェクタがオンになると、ステータスLEDが緑になります。

投写画像の高さを調整する



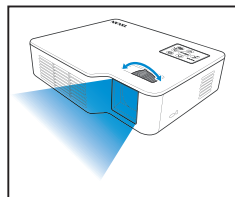
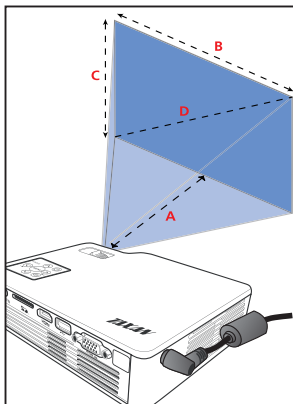
プロジェクタには、投写画像の高さを調整するための高さ調整脚が装備されています。

高さを調整するには:
高さ調整脚のネジを回して、投写画像の位置を希望の高さに調整します。

注
オートキーストーンの場合は、プロジェクタのオートキーストーン機能により画像表示が自動的に補正されます。

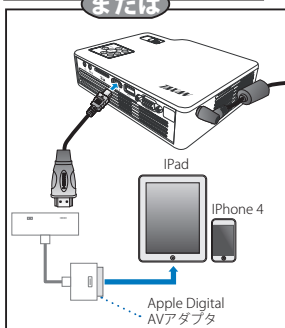
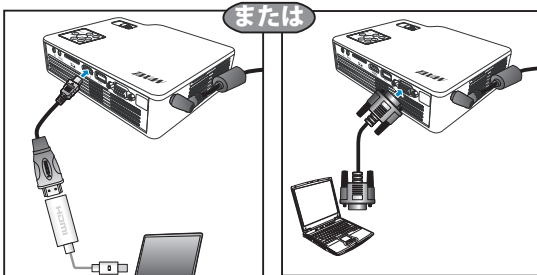
投写画像を調整する

画面サイズ - 対角 (D)		投写距離 (A)	画面サイズ - 幅 (B)	画面サイズ - 高 (C)
(インチ)	(mm)	(メートル)	(mm)	(mm)
20	508	0.60	431	269
40	1016	1.21	862	538
60	1524	1.81	1292	808
80	2032	2.41	1723	1077
100	2540	3.02	2154	1346
120	3048	3.62	2585	1615
140	3556	4.22	3015	1885
160	4064	4.82	3446	2154
180	4572	5.43	3877	2423



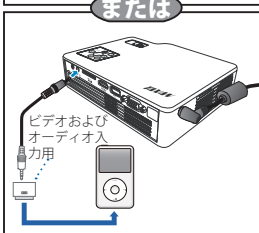
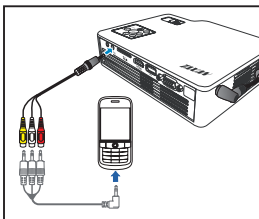
画像が鮮明になるまで、フォーカスを調整します。

入力ソースを接続する - VGA/HDMI



- 適切なケーブルを使用して、VGA/HDMIデバイスを接続します。
- プロジェクタの電源をオンにしてから、コントロールパネルで $\odot$ を押すか、または、リモコンで $\odot$ を押すと、入力ソースが自動的に切り替わります。

入力ソースの接続 - コンポジットAV入力



- AV入力ソースを接続します。
- プロジェクタの電源をオンにしてから、コントロールパネルで $\odot$ を押すか、または、リモコンで $\odot$ を押すと、入力ソースが自動的に切り替わります。

注
1. ビデオ出力デバイスを接続するケーブルは同梱されていません。デバイスの供給メーカーに連絡してください。
2. iPod nano/iPod touch/iPhone/iPod classic (バージョン5以上)
3. テレビ出力機能を搭載のiPod/iPhone/携帯電話/MP3用に設計されています。オーディオ信号電圧が0.3Vrmsを超えるデバイスとの使用はお勧めしません。
4. その他のすべてのブランド名および製品名は各社の商標および登録商標です。

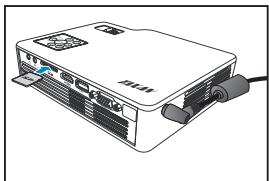
ビデオ変換ケーブル仕様

Audio / Video Cable



PIN	シグナル
1	グラウンド
2	ホワイト - 左のオーディオ
3	赤 - 右のオーディオ
4	黄 - ビデオ

SDカードを挿入する

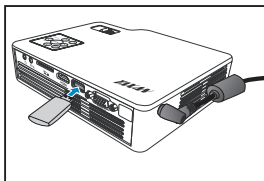


接触面を下向きにしてSDカードをスロットに挿入します。

注

- SDカードを取り出すには、メモリカードをスロットから引き出します。
- プロジェクタがカードから画像を投写中は、SDカードを取り出さないでください。これを行うと、データが失われたり、カードが破損したりする場合があります。
- 最大32GBのSDカードをサポートしています。
- SDカードはパッケージには含まれていません。

USBフラッシュドライブを挿入する

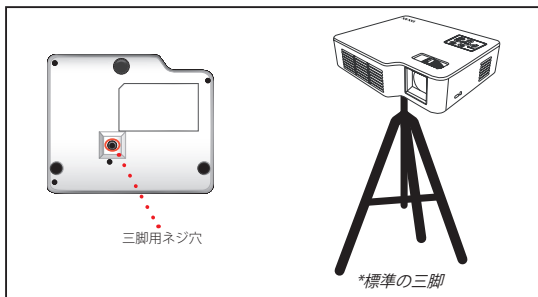


USBフラッシュドライブをプロジェクタの背面のUSBコネクタに接続します。

注

- FAT32およびNTFS形式のUSBフラッシュドライブをサポートしています。

三脚を使用して設置する



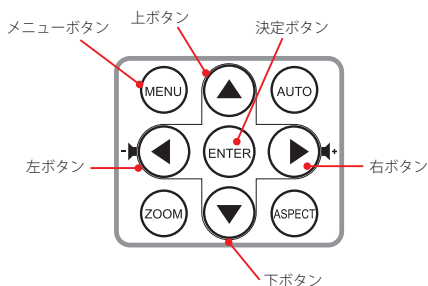
標準の三脚をプロジェクタのネジ穴に取り付けます。

注

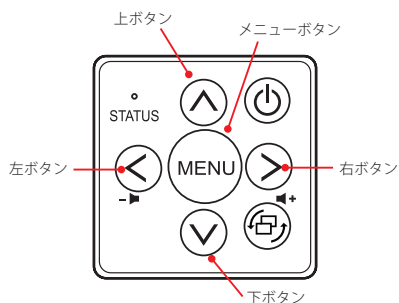
- 三脚は別途で用意ください。

メニューの使用方法

リモコン



コントロールパネル



一般的な操作（リモコンの使用など）

- 戻る場合は、Menuボタンを押します。
- ▲/▼を使用して、希望のメインメニューオプションを強調表示し、▶を押して選択を確認します。
- メディアファイルを再生するには、▲/▼を押して、「EZメディア」を選択し、▶を押して、データソースモードを選択します。次に、▲/▼を押して、希望のデータソースを選択し、▶を押して、EZメディアサブメニューを選択します。
- ボタンの機能は、現在のモードにより異なります。

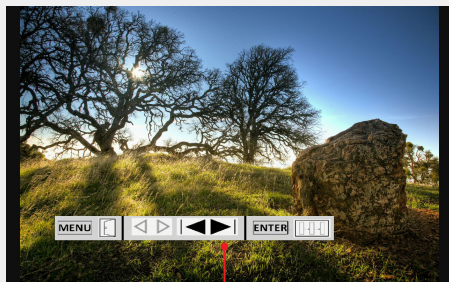
EZメディアサブメニュー

ホームメニュー



▲/▼を押して、アクセスするメニュー項目を選択し、▶を押して、メニュー画面を選択します。

注
ほとんどの画面の下部でボタンガイドが表示されます。ガイドは、現在のモードにより異なります。対応するボタンを押して、オプションまたは操作を選択します。



ボタンガイド



写真メニュー



ビデオメニュー



オーディオメニュー



オフィスビューアメニュー

写真の表示

USB記憶デバイスまたはSDメモ리카ードに保存された写真を表示します。

「注」
サポートされる写真の形式については、27ページを参照してください。

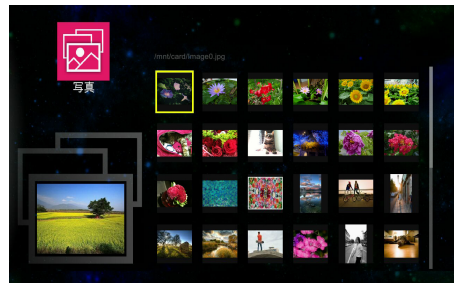
1. USBデバイスまたはSDメモ리카ードをUSBポートまたはプロジェクタのメモ리카ードスロットに挿入します。
2. プロジェクタをオンにします。OSDメニューが画面に表示されます。
3. ▲/▼を押して、「EZメディア」を選択し、▶を押して、データソースモードを選択します。
4. ▲/▼を押して、希望のデータソースを選択し、▶を押して、EZメディアサブメニューを選択します。



5. ▲/▼を押して、「写真」(Photos)を選択し、▶を押して、サムネイル表示の写真を表示します。

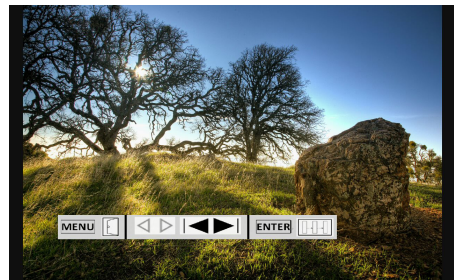


6. ▲/▼/◀/▶を押して、写真を選択し、(ENTER)を押して、写真を全画面で表示します。



7. 全画面モードでは、次の操作を行うことができます:

- ⇒ ◀/▶を押すと、前の写真または次の写真が表示されます。
- ⇒ (ENTER)を押すと、スライドショーが開始されます。
- ⇒ (MENU)を押すと、サムネイル表示に戻ります。



写真の表示 - 全画面表示

スライドショー機能がオンになっている場合、写真は特定の間隔で継続して再生されます。

注
キーパッドが3秒間、未使用になると、ボタンガイドが消えます。ボタンガイドを表示するには、任意のキーを押します。
スライドショーの設定を変更するには、以下の「写真の設定」を参照してください。



メディア再生コントロール			
◀	前の写真	MENU	サムネイル表示に戻る
▶	次の写真	ENTER	スライドショーを開始する

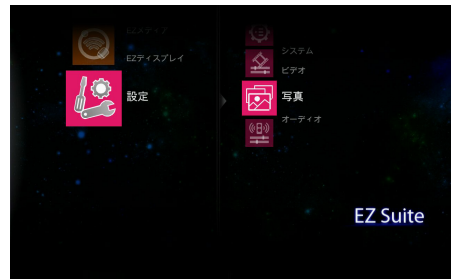
写真の設定

ディスプレイ比を選択して、スライドショーをオンまたはオフにして、スライドショーの間隔設定を設定します。

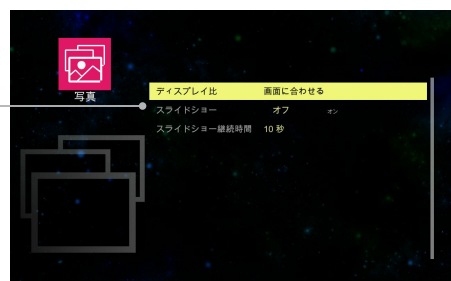
1. ▲/▼を押して、「設定」を選択し、▶を押して、設定サブメニューを選択します。



2. ▲/▼を押して、「写真」を選択し、▶を押して、写真設定サブメニューを選択します。



3. ▲/▼を押して、サブメニュー項目を選択し、◀/▶及びEnterを押して、設定を調整します。



メニュー項目	説明および利用可能なオプション
ディスプレイ比	ディスプレイのアスペクト比を選択します。 利用可能なオプション: 全画面に合わせる
スライドショー	スライドショーをオンまたはオフにします。 利用可能なオプション: オフ/オン
スライドショー継続時間	各スライド表示間の間隔を設定します。 利用可能なオプション: 10秒/30秒/1分

ビデオの再生

USB記憶デバイスまたはSDメモ리카ードに保存されたビデオを再生します。

注
サポートされるビデオの形式については、27ページを参照してください。

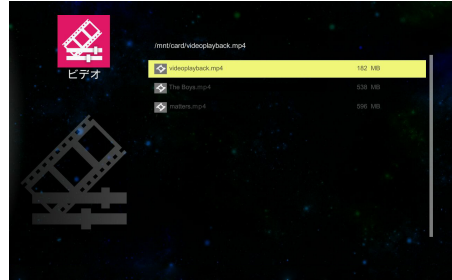
1. USBデバイスまたはSDメモ리카ードをUSBポートまたはプロジェクタのメモ리카ードスロットに挿入します。
2. プロジェクタをオンにします。OSDメニューが画面に表示されます。
3. ▲/▼を押して、「EZメディア」を選択し、▶を押して、データソースモードを選択します。
4. ▲/▼を押して、希望のデータソースを選択し、▶を押して、EZメディアサブメニューを選択します。



5. ▲/▼を押して、「ビデオ」を選択し、▶を押して、ビデオファイルを参照します。

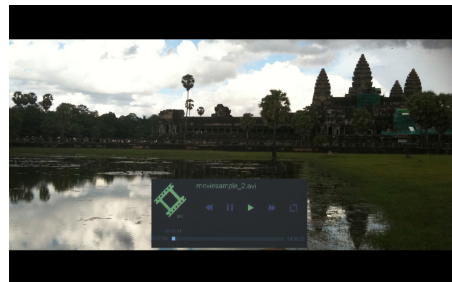


6. ▲/▼を押して、ビデオを選択し、○(ENTER)を押して、ビデオの再生を開始します。



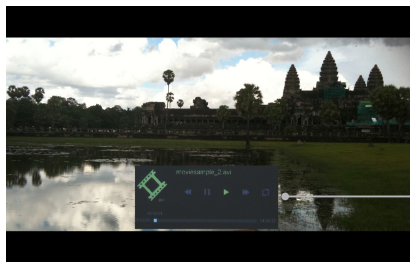
7. ビデオ再生中は、次の操作を行うことができます:

- ⇒◀/▶を押して、再生を巻き戻し/早送りします。
- ⇒○(ENTER)を押して、再生を一時停止します。○(ENTER)を再度押して、再開します。
- ⇒○(MENU)を押して、再生を停止します。



ビデオ再生 - ビデオ再生モード

注
キーパッドが3秒間、未使用になると、ボタンガイドが消えます。ボタンガイドを表示するには、任意のキーを押します。



メディア再生コントロール



一時停止/
再開



早送り



再生終了



巻き戻し

ビデオ設定

ディスプレイ比を選択し、再生モードオプションを設定し、自動再生をオンまたはオフにします。

1. ▲/▼を押して、「設定」を選択し、▶を押して、設定サブメニューを選択します。



2. ▲/▼を押して、「ビデオ」を選択し、▶を押して、ビデオ設定サブメニューを選択します。



3. ▲/▼を押して、サブメニュー項目を選択し、◀/▶を押して、設定を調整します。



メニュー項目 説明および利用可能なオプション

ディスプレイ比	ディスプレイのアスペクト比を選択します。 利用可能なオプション: オリジナル/全画面
繰り返しモード	ビデオ再生モードオプションを設定します。 利用可能なオプション: シングル/繰り返し
自動再生	自動ビデオ再生をオンまたはオフにします。 利用可能なオプション: オフ/オン

音楽の再生

USB記憶デバイスまたはSDメモ리카ードに保存された曲またはオーディオファイルを再生します。

「注」
サポートされる音楽の形式については、27ページを参照してください。

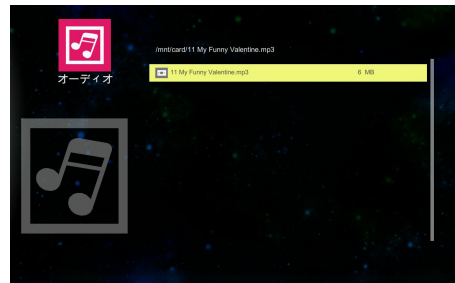
1. USBデバイスまたはSDメモ리카ードをUSBポートまたはプロジェクトのメモ리카ードスロットに挿入します。
2. プロジェクトをオンにします。OSDメニューが画面に表示されます。
3. ▲/▼を押して、「EZメディア」を選択し、▶を押して、データソースモードを選択します。
4. ▲/▼を押して、希望のデータソースを選択し、▶を押して、EZメディアサブメニューを選択します。



5. ▲/▼を押して、「オーディオ」を選択し、▶を押して、曲/オーディオファイルを参照します。

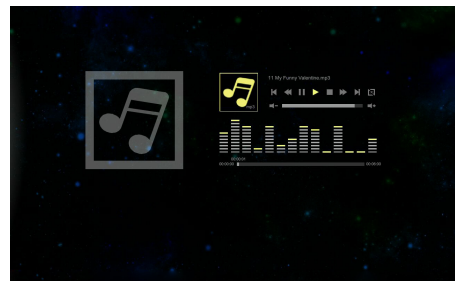


6. ▲/▼を押して、曲/オーディオファイルを選択し、○(ENTER)を押して、再生を開始します。



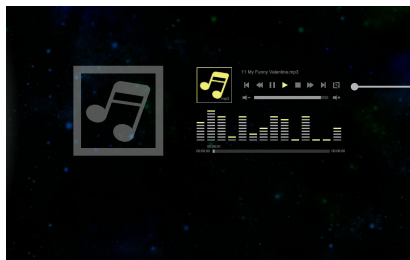
7. 再生中は、次の操作を行うことができます:

- ⇒ ◀/▶を押して、再生を巻き戻し/早送りします。
- ⇒ ○(ENTER)を押して、再生を一時停止します。○(ENTER)を再度押して、再開します。
- ⇒ ○(ENTER)を押して、再生を停止します。



音楽再生 - 音楽再生モード

注
キーボードが3秒間、未使用になると、ボタンガイドが消えます。ボタンガイドを表示するには、任意のキーを押します。



メディア再生コントロール			
	一時停止/ 再開		早送り
	再生終了		巻き戻し

音楽設定

再生モードオプションを設定し、自動再生をオンまたはオフにします。

1. ▲/▼を押して、「設定」を選択し、▶を押して、設定サブメニューを選択します。



2. ▲/▼を押して、「オーディオ」を選択し、▶を押して、オーディオ設定メニューを選択します。



3. ▲/▼を押して、サブメニュー項目を選択し、◀/▶を押して、設定を調整します。



メニュー項目	説明および利用可能なオプション
繰り返しモード	音楽再生モードオプションを設定します。 利用可能なオプション: シングル/シーケンス
自動再生	自動音楽再生をオンまたはオフにします。 利用可能なオプション: オフ/オン

ドキュメントの表示

USB記憶デバイスまたはSDメモ리카ードに保存されたドキュメントを表示します。

「注」
サポートされるファイルの形式については、27ページを参照してください。」

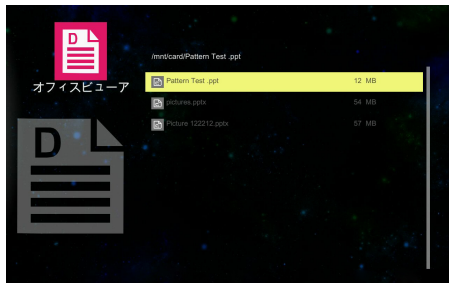
1. USBデバイスまたはSDメモ리카ードをUSBポートまたはプロジェクタのメモ리카ードスロットに挿入します。
2. プロジェクタをオンにします。OSDメニューが画面に表示されます。
3. ▲/▼を押して、「EZメディア」を選択し、▶を押して、データソースモードを選択します。
4. ▲/▼を押して、希望のデータソースを選択し、▶を押して、EZメディアサブメニューを選択します。



5. ▲/▼を押して、「オフィスビューア」(Office Viewer)を選択し、▶を押して、ファイルを参照します。



6. ▲/▼を押して、ファイルを選択し、⌂を押して、ドキュメントを全画面で開きます。



7. 全画面モードでは、次の操作を行うことができます:

⇒ ▲/▼を押して、前のページまたは次のページを表示します。

⇒ ⌂を押して、ディスプレイモードを選択します。

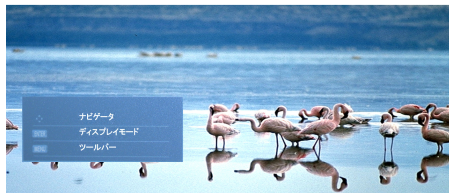
ディスプレイモードで、◀/▶を押して、ドキュメントを左右にスクロールするか、▲/▼を押して、前のページまたは次のページを表示します。

⇒ ⌂を押して、アドバンスドメニューモードを選択します。

アドバンスドメニューモードで、◀/▶を押して、ドキュメントをズームインまたはズームアウトするか、

⌂を押して、表示されたドキュメントを90°時計回りに回転させます。

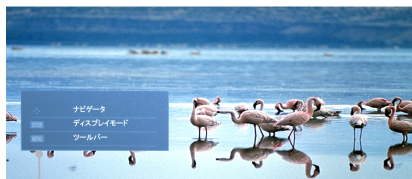
Presentation



注
キーパッドが3秒間、未使用になると、ボタンガイドが消えます。ボタンガイドを表示するには、任意のキーを押します。

全画面表示

Presentation



メディア再生コントロール			
▲	前ページ	▶	右に移動
▼	次ページ	ENTER	ディスプレイモードの選択
◀	左に移動	MENU	アドバンスドメニューモードの選択

アドバンスドメニューモード

Presentation



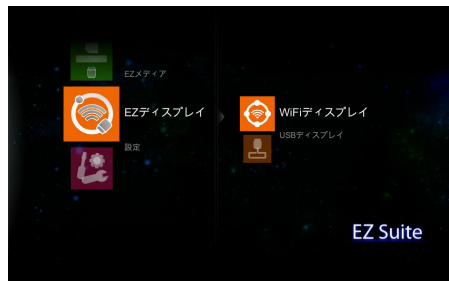
メディア再生コントロール			
◀	ズームイン	▶	ズームアウト
ENTER	回転	MENU	再生終了

USBディスプレイ

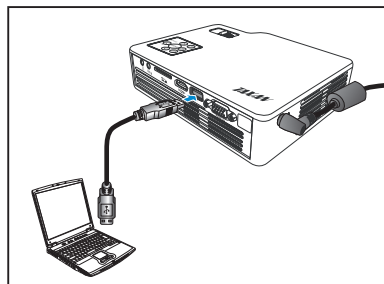
プロジェクタを使用して、コンピュータの表示を投写画面に表示します。

【注】
USBディスプレイは、MACとは互換性がありません。

1. プロジェクタをオンにします。
2. ▲/▼を押して、「EZディスプレイ」を選択し、▶を押して、EZディスプレイサブメニューを選択します。



3. USBケーブルを使用して、ラップトップまたはPCを接続します。

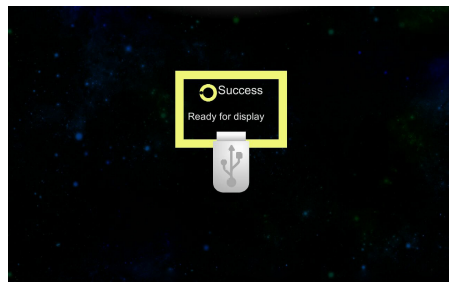


4. ▲/▼を押して、「USBディスプレイ」を選択し、▶を押して、USBディスプレイモードを選択します。



5. PCの接続が正常に検出されたら、「成功しました」というメッセージが画面に消えます。次に、PCの画面が画面に投写されます。

【注】
コンピュータは自動的に接続を検出し、必要なドライバをインストールします。



WiFiディスプレイ

この機能を使用して、コンピュータの表示を投写された画面にワイヤレスで表示します。

注

Wi-Fiディスプレイ機能を初めて使用するときには、次の手順に従い、PCにEZ WiFiディスプレイツールをダウンロードしてインストールします。
1. Windowsデスクトップから、「Windows OS」をダブルクリックします。
画面の指示に従い、ソフトウェアのインストールを完了します。

IP address: 192.168.111.1

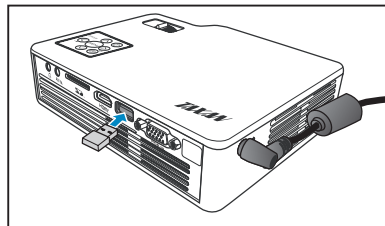
EZ Wifi driverのダウンロードは2つの方法があります。1つは、IP addressを使ってウェブサイトから直接アクセスしてプログラムをダウンロードする方法になります(アクセスする前にWiFi ドングルとプロジェクターを予め接続しておいてください)。もう1つは、CDにあるEZ Wifi driverプログラムをダウンロードする方法になります。但し、CDを使ってダウンロードした場合、その後のソフトウェアアップデートはTaxan homepageへアクセスして最新のプログラムをダウンロードしなければなりません。

(Homepage: <http://www.taxan-projector.jp/>)

2. Wi-Fiディスプレイは、MACとは互換性がありません。



1. プロジェクタをオンにして、Wi-Fi dongleのプラグを挿入します。



2. ▲/▼を押して、「EZディスプレイ」を選択し、▶を押して、EZディスプレイサブメニューを選択します。



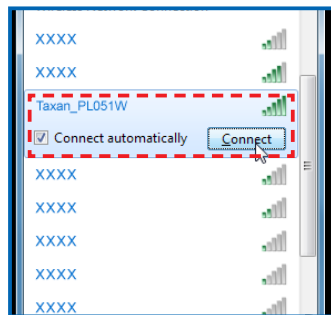
3. ▶を押して、Wi-Fiディスプレイモードを選択します。

Wi-Fi接続が検出されたら、「成功しました」というメッセージが画面に消えます。

4. PCのワイヤレス接続で、ドングル名を選択します。

注

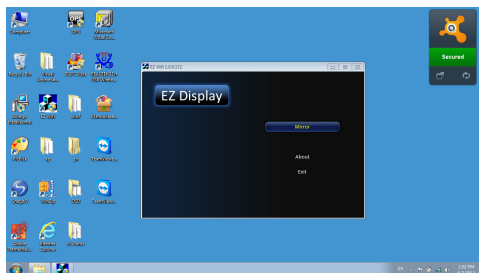
最初の接続で、パスワードを求められます。パスワード「TAXAN1234」を入力し、「Connect (接続)」を押します。(対応解像度: 800x600、1024x768、1280x800)



5. 「EZ WiFi」ソフトウェアを起動し、PCのディスプレイを表示します。

注

接続が確立されると、PCにより画面の解像度が自動的に調整されます。



ファームウェアのアップグレード

プロジェクトのファームウェアを更新します。

注
ソフトウェアの更新は当社のウェブサイトから入手できます。 <http://www.taxan-projector.jp/support/download/index.html>

1. コンピュータに、最新のファームウェアをダウンロードします。
2. ファイルをSDカードのルートフォルダにコピーします。
3. SDカードをプロジェクトのSDカードスロットに挿入します。
4. ▲/▼を押して、「設定」を選択し、▶を押して、設定サブメニューを選択します。



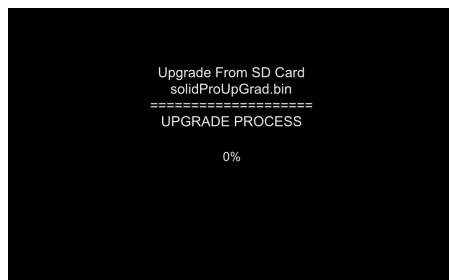
5. ▲/▼を押して、「システム」を選択し、▶を押して、システムサブメニューを選択します。



6. ▲/▼を押して、「アップグレード」を選択します。



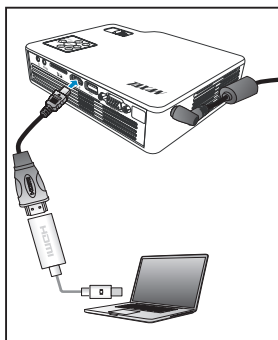
7. (ENTER)を押して、プロジェクトのファームウェアをアップグレードします。



注
アップグレードの進行中は、ボタンに触れたり、プロジェクトをオフにしたりしないでください。
これらを行うと、プロジェクトが破損する場合があります。
アップグレードが完了するまで、SDカードは取り出さないでください。
アップグレードプロセスの完了後、システムは自動的に再起動します。

メニュー設定を外部入力ソース用に調整する

入力ソースの選択



ビデオソースデバイスを接続し、オンにしたら、リモコンの $\odot$ を押すか、コントロールパネルの $\odot$ を押すと、入力ソースが自動的に切り替わります。

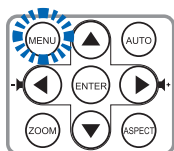
利用可能なソースは次の順序で消えます。

1. VGA
2. HDMI
3. コンポーネント
4. コンボジット
5. マルチメディア

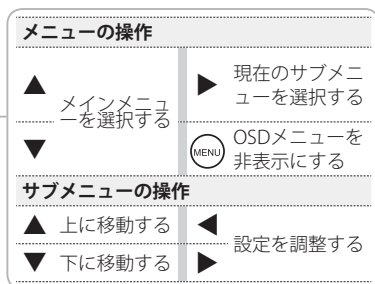
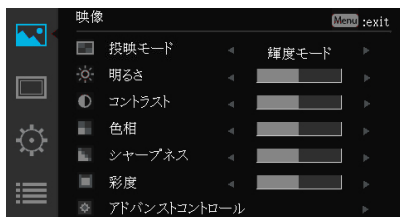
注： リストの開始位置は最後に接続した入力ソースによって決まります。

注： 入力ソースからの信号がない場合は、メニューは表示されません。

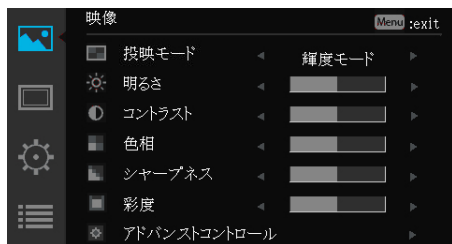
メニューモードの選択



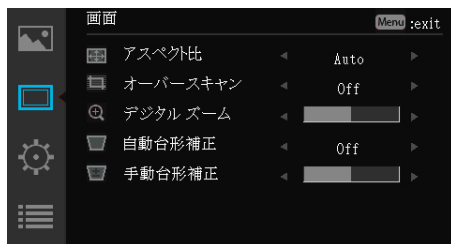
リモコンの $\odot$ またはコントロールパネルのMENUを押して、メニューモードを選択します。



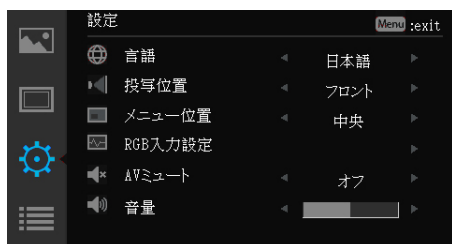
メニュー項目



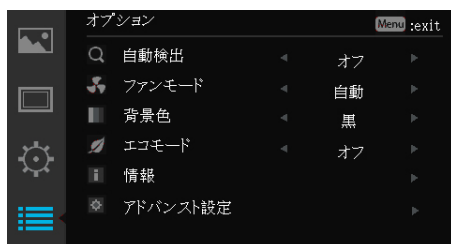
「画像」メニュー



「画面」メニュー



「設定」メニュー



「オプション」メニュー

メニューの使用法

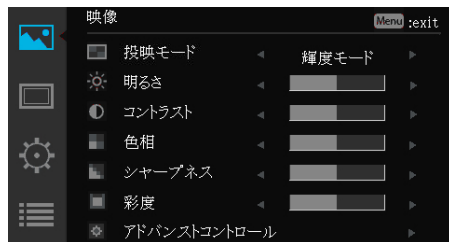
「画像」メニュー

室内の周囲の照明および個人的な好みによって、投写画面に表示された画像を向上および微調整します。

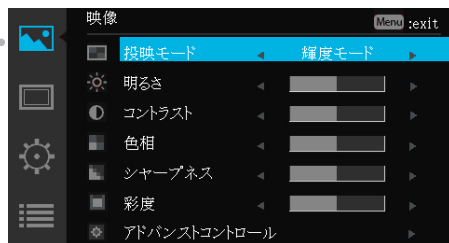
1. リモコンの  またはコントロールパネルのMENUを押して、メニューモードを選択します。

OSDメニューが画面に表示されます。

2. ▲/▼を押して、「映像」を選択し、▶を押して、画像サブメニューを選択します。



3. ▲/▼を押して、サブメニュー項目を選択し、◀/▶を押して、設定を調整します。



メニュー項目	説明
投影モード	投影モードを設定します。 利用可能なオプション: 輝度/PC/動画/画像/ユーザー
明るさ	画像の明るさを調整します。
コントラスト	画像のコントラストを調整します。
色相	画像の赤、緑および青のバランスを調整します。
シャープネス	画像のシャープさまたはソフトさを調整します。
彩度	色の強さを調整します。
アドバンスコントロール	投写画像の詳細設定を設定します。
	ガンマ 入力信号の明るくする部分と暗くする部分の比率を調整します。 利用可能なオプション: 0 / 1 / 2
	BrilliantColor (ブ リリアントカラ ー) 色を変更して、明るさを増やします。 利用可能なオプション: 0 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9
	色温度 ディスプレイの色温度を選択します。 利用可能なオプション: Low/Middle/High
	カラースペース ビデオ入力信号から投写された画像の色を調整します。 利用可能なオプション: Auto (自動)/RGB/YUV
	終了 画像サブメニューに戻ります。

4. リモコンの  またはコントロールパネルのMENUを押して、メニューモードを終了します。

メニューの使用法

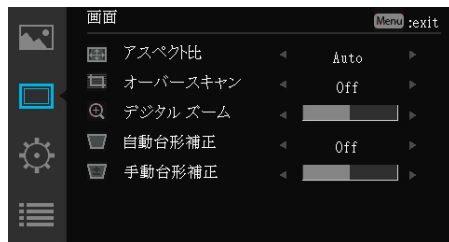
「画面」メニュー

投写画面の設定を構成および調整します。

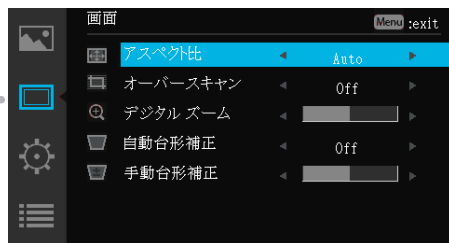
1. リモコンの  またはコントロールパネルのMENUを押して、メニューモードを選択します。

OSDメニューが画面に表示されます。

2. ▲/▼を押して、「画面」を選択し、▶を押して、画面サブメニューを選択します。



3. ▲/▼を押して、サブメニュー項目を選択し、◀/▶を押して、設定を調整します。



メニュー項目	説明
アスペクト比	ディスプレイのアスペクト比を選択します。 利用可能なオプション: AUTO/4:3/16:9/16:10
オーバー スキャン	オーバー スキャン表示をオンにします (HDMI入力信号の場合のみ)。 利用可能なオプション: オフ/オン
デジタルズーム	投写画像をデジタルで拡大します。
自動台形補正	投写画像の台形(キーストーン)歪みを自動的に調整します。 利用可能なオプション: オフ/オン
手動台形補正	投写画像の台形(キーストーン)歪みを手動で調整します。

4. リモコンの  またはコントロールパネルのMENUを押して、メニューモードを終了します。

メニューの使用法

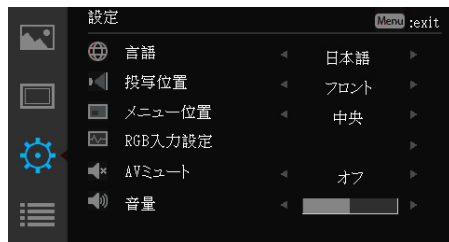
「設定」メニュー

OSDの言語、プロジェクタおよびメニューの位置、PC表示設定、音量調整を設定し、およびミュート機能をオンまたはオフにします。

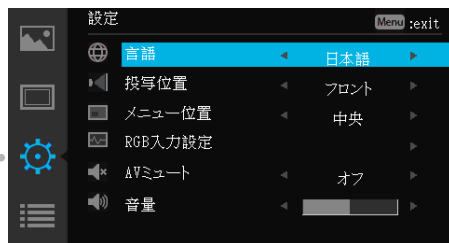
1. リモコンの  またはコントロールパネルのMENUを押して、メニューモードを選択します。

OSDメニューが画面に表示されます。

2. ▲/▼を押して、「設定」を選択し、▶を押して、設定サブメニューを選択します。



3. ▲/▼を押して、サブメニュー項目を選択し、◀/▶を押して、設定を調整します。



メニュー項目	説明	
言語	画面上に表示される言語を設定します。 利用可能なオプション: 英語/日本語	
投射位置	プロジェクタの位置を選択します。 利用可能なオプション: フロント/リア/フロント天吊/リア天吊	
メニューの位置	OSDメニューの表示位置を設定します。 利用可能なオプション: 中央/左上/右上/左下/右下	
信号	PCの表示設定を調整します。	
	自動	表示を自動的に同期します。 利用可能なオプション: Yes(実行する)/No(実行しない)
	位相	調整して、水平ノイズを低減します。
	クロック	調整して、垂直ノイズを低減します。
	水平位置	画面の位置を水平に移動します。
	垂直位置	画面の位置を垂直に移動します。
ミュート	終了	「設定」サブメニューに戻ります。
	音を一時的にオフにします。 利用可能なオプション: オフ/オン	
音量	組み込みのスピーカーの音量を調整します。	

4. リモコンの  またはコントロールパネルのMENUを押して、メニューモードを終了します。

メニューの使用法

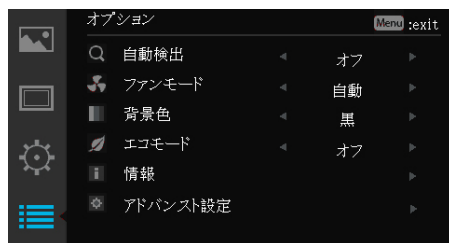
「オプション」メニュー

オートサーチ、ファンモード、背景色などの一般設定を設定します。

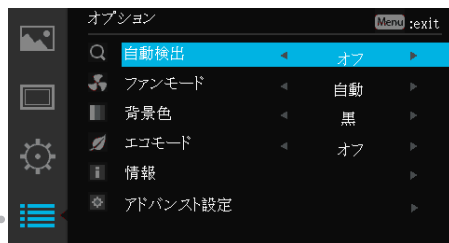
1. リモコンの  またはコントロールパネルのMENUを押して、メニューモードを選択します。

OSDメニューが画面に表示されます。

2. ▲/▼を押して、「オプション」を選択し、▶を押して、オプションサブメニューを選択します。



3. ▲/▼を押して、サブメニュー項目を選択し、◀/▶を押して、設定を調整します。



メニュー項目	説明
自動検出	プロジェクタをオンにすると、入力信号を自動的に検出します。 利用可能なオプション: オン/オフ
ファンモード	高度に応じてファンスピードを設定します。 利用可能なオプション: 自動/高地対応モード
背景色	入力信号がないときの画面の背景色を設定します。 利用可能なオプション: 黒/青
エコモード	明るさを下げて、消費電力を下げます。 利用可能なオプション: オン/オフ
情報	プロジェクタの情報を表示します。
アドバンス設定	その他の一般設定を構成します。
	ダイレクト電源 オン 電源プラグを差し込むとプロジェクタの電源が自動的にオンになります。 利用可能なオプション: オン/オフ
	オートパワー オフ プリセットされた時間アイドル状態になると、プロジェクタが自動的にオフになります。 利用可能なオプション: 無効/5分/10分/15分/20分/25分/30分
	設定リセット すべての設定を工場出荷時のデフォルトの設定にリセットします。 利用可能なオプション: 実行しない/実行する
	終了 オプションサブメニューに戻ります。

4. リモコンの  またはコントロールパネルのMENUを押して、メニューモードを終了します。

メディアファイルのサポートリスト

ビデオ

ファイルタイプ	ビデオ	解像度	ビットレート	フレームレート	オーディオコード	備考
AVI MKV	XVID MPEG4 H.264 M-JPEG WMV3	1080P	20Mbps	30fps	AC3 DTS MPEG1/2/3 PCM ADPCM AAC	VC-1 APのサポートなし H.264は 4つ未満の参照フレームをサポートしています
TS	H.264	1080P	20Mbps	30fps	AC3 AAC MPEG1/2/3 DTS LPCM	H.264は4つ未満の参照フレームをサポートしています
DAT VOB MPG MPEG	MPEG-1	1080P	20Mbps	30fps	MPEG1/2/3 AC3 DTS LPCM	
MOV MP4 3GP	MPEG-4 H.264 H.263	1080P	20Mbps	30fps	AAC AMR PCM ADPCM	H.264は4つ未満の参照フレームをサポートしています
RM RMVB	RV3 RV4	720P	5Mbps	30fps	Cook (RA4) AAC (RA9) RACP (RA10)	
WMV	WMV3	1080P	20Mbps	30fps	WMA2 WMA3	VC-1 APのサポートなし

写真

画像タイプ (拡張子名)	サブタイプ	エンコードタイプ	最大ピクセル数
JPEG JPG	ベースライン	YUV400	制限なし
		YUV420	制限なし
		YUV422	制限なし
		YUV440	制限なし
		YUV444	制限なし
	プログレッシブ	YUV400	幅10240以下 および高さ6400以下
		YUV420	
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
BMP			制限なし

ドキュメント

サポートされるバージョン	Microsoft® Officeアプリケーション	ファイルの拡張子
Microsoft® Office 95 Microsoft® Office 97	Word	.doc .docx
Microsoft® Office 2000	Power Point	.ppt .pptx
Microsoft® Office 2003 Microsoft® Office 2007	Excel	.xls .xlsx
Microsoft® Office 2010	Adobe PDF	.pdf

音楽

音楽タイプ (拡張子名)	サンプリングレート (KHz)	ビットレート (Kbps)
MP1/MP2/MP3	8-48	8-320
WMA	22-48	5-320
OGG	8-48	64-320
ADPCM-WAV	8-48	32-384
PCM-WAV	8-48	128-1536
AAC	8-48	8-256

仕様

項目	説明
モデル	KG-PL051W
表示形式	DMD WXGA 0.45"
ネイティブ解像度	1280x800 WXGA
明るさ	500ルーメン
投写距離	0.9～2.4 m
投写画面サイズ	20"～150"
フォーカス	手動
スロー比	1.4
垂直キーストーン	±40°
投写モード	フロント/リア/フロント天吊/リア天吊
標準入力解像度	最大SXGA+ (60Hz)
SDTV/EDTV/ HDTV	480i、480p、576i、567p、720p、1080i
ビデオ信号	NTSC/NTSC4.43/PAL (PAL-M、PAL-Nを含む)/SECAM/PAL60"
水平周波数	30.5～91.1kHz
垂直周波数	50～85Hz
安全規格	CE、CB、PSE、VCCI
動作温度	0～35°C
寸法 (幅×高×深さ)	170 x 42.5 x 138mm
電源入力	AC100～240V 50Hz/60Hz
電力消費量	80W@100V
スタンバイ	0.5W未満
光源	LED
ランプの寿命	30,000時間
スピーカー	2Wx1
入力ポート	VGA (15ピンD-sub)
	HDMI
	A/V入力3.5mm
セキュリティ	USB
	ケンジントンスロット

トラブルシューティング

プロジェクタで問題が発生した場合、以下の情報を参照してください。問題を解決できない場合は、販売店またはカスタマーセンターまでご連絡ください。

画像の問題

☆ 画面に画像が表示されない

- 電源コードが適切および確実に接続されていることを確認します。
- コネクターのピンが曲がっていたり、破損していたりしないことを確認します。
- プロジェクタのスイッチがオンになっていることを確認します。

☆ 画像のフォーカスが合っていない

- フォーカスダイヤルを調整します。
- 投写画面がプロジェクタから所要の距離 (0.9～2.4メートル) 離れていることを確認します。8ページを参照してください。

☆ 画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- プロジェクタを画面に近づけるか、遠ざけます。

オーディオの問題

☆ 音がでない

- 音楽の再生中に、リモコンの◀/▶またはコントロールパネルの</>を押します。

注

プロジェクタの温度が一定温度以上に達すると、温度保護機能によりプロジェクタは自動的にシャットダウンします。これは、故障ではありません。スイッチを再度オンにする前に、プロジェクタの温度を下げて下さい。